



デジタルアーカイブ講習会 —図書館を対象として—

1日目：2021年12月19日（日）10：00～18：00

2日目：2021年12月20日（月）10：00～17：30

- 主催：NPO法人知的資源イニシアティブ（IRI）
- 協賛：ビジネス支援図書館推進協議会（BL）
- 講習：オンラインライブ配信及び復習用録画配信
- 対象：自治体図書館員、図書館関係者自治体職員、図書館関連企業職員
- 定員：10名以上で20名を予定
- 受講料：12,000円（BL会員は、10,000円）—受講後、修了証を発行します—
※一部の講義のみを受講されたい方は事務局までメールにてお申し込みください。
- 申し込み方法：IRI HPの申し込みフォームにて

■ 講習会開催趣旨

近年、資料をデジタル化し、インターネットを通じて広く国内外に提供することを、図書館は求められています。一方で、図書館職員や関連する方のデジタルアーカイブについての知識と経験が不足しており、適切な推進ができない状況も見受けられます。知的資源イニシアティブ（以下、IRI）では、この課題を少しでも解消するために、デジタルアーカイブ講習会を、今年度初めて開催することとしました。「図書館におけるデジタルアーカイブとは何か」についての技術的、政策面を、基礎からわかりやすく講義していきたいと考えております。今後デジタルアーカイブの導入を予定されている方、基礎的な知識を学んでみたい方等、意欲的な方々の参加をお待ちしています。

2021年9月

IRI代表理事：山崎博樹

日	No.	講義タイトル	内容	講義時間(分)	担当講師
12/19	1	図書館とICTについて	図書館におけるICT（デジタルアーカイブ含む）の意義・必要性について	10:00～11:30 (90分)	野末 俊比古
	2	デジタルアーカイブ構築ステップについて	デジタルアーカイブ構築のための準備とステップについて	11:45～12:45 (60分)	山崎 博樹
	3	デジタルアーカイブの状況について	国の動向、国立国会図書館の事業について（ジャパンサーチの説明動画の配信および質疑）（*1）	13:50～15:05 (75分)	原田 隆史 山崎 博樹
	4	デジタルデータの作り方について	デジタルデータ作成のための基礎知識について	15:20～17:00 (100分)	岡本 明
		交流会	講師と受講生の交流会	17:00～18:00 (90分)	
12/20	5	デジタルアーカイブシステムについて（1）	最新技術、関連技術などについて	10:00～11:30 (90分)	原田 隆史
	6	デジタルアーカイブシステムについて（2）-1	デジタルアーカイブシステムが持つ機能について①	11:45～12:30 (45分)	原田 隆史
	7	デジタルアーカイブシステムについて（2）-2	デジタルアーカイブシステムが持つ機能について②	13:30～14:15 (45分)	岡本 明
	8	デジタルアーカイブに関わる法律について	著作権について 文化庁裁定について	14:30～16:00 (90分)	原田 隆史
	9	まとめ、質疑		16:15～17:30 (75分)	山崎 博樹 原田 隆史 岡本 明
			講義時間計（9コマ）	11時間10分	

・（*1）ジャパンサーチ説明動画のURLは、講習会開催前にメールなどでお知らせいたします。

※1日目、2日目の講義内容については、一部変更になる可能性があります。

※1日目（12月19日講習終了後）に希望する参加者によるオンライン交流会を開催します。

※講習会終了後に、デジタルアーカイブの導入を予定している方向けに、[個別相談会を希望に応じて受けます。](#)

※[復習用録画配信視聴方法](#)については、[講習会内でお知らせ](#)します。

■ 講師紹介

山崎 博樹：IRI代表理事、内閣府デジタルアーカイブ実務者会議委員、総務省地域情報化アドバイザー

野末俊比古：青山学院大学教育人間科学部教授・図書館長・アカデミックライティングセンター長、

革新技術と社会共創研究所副所長、IRI理事

原田 隆史：同志社大学免許資格課程センター教授、同志社大学大学院総合政策科学研究科教授

国立国会図書館電子情報部非常勤調査員、IRI理事

岡本 明：情報規格調査会SC29/WG1(JPEG)委員、IRI理事

■ お問い合わせ

・IRI事務局担当：黒田

・問い合わせ方法：事務局メールアドレス iri@fms.co.jp

※メール件名を「講習会について」とし、ご所属・お名前を明記の上、メールにてお問い合わせください。

